



# 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アルファ

コード番号 3434 URL <http://www.kk-alpha.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川名 祥之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 齊藤 雄一

TEL 045-787-8401

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	22,972	△7.1	1,213	51.1	241	△60.7	△1,116	—
28年3月期第2四半期	24,722	3.8	802	106.0	613	△8.1	118	△77.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △4,369百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △99百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△116.86	—
28年3月期第2四半期	12.37	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	49,595	22,440	43.9	2,278.55		
28年3月期	51,519	27,295	51.3	2,767.80		

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 21,765百万円 28年3月期 26,439百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年3月期	—	15.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	△4.0	2,100	57.4	1,350	—	△800	—	△83.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名)Alpha Vehicle Security Solutions Czech s. r. o.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	10,200,000 株	28年3月期	10,200,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	647,477 株	28年3月期	647,477 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	9,552,523 株	28年3月期2Q	9,552,569 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信に関しましては、四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施済みです。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国や欧州における景気は引き続き回復しましたが、中国及び新興国では経済成長の減速が顕著となりました。また英国のEU離脱問題など、今後の世界経済に留意すべき事項もおきました。日本経済は、円高や設備投資の伸び悩みなどにより不透明な状況が広がったものの個人消費では持ち直しの傾向がみられました。

当社グループの属する自動車業界では、北米を中心に海外生産、販売ともに伸びましたが、国内では販売台数が前年を下回りました。セキュリティ機器業界では、国内の住宅着工件数がマイナス金利導入後の住宅ローン金利低下を受けて前年を上回りました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は海外拠点の現地通貨ベースでみると増収ではあったものの、円換算後は円高による為替影響を大きく受け229億72百万円と前年同四半期に比べ、17億50百万円（△7.1%）の減収となりました。利益につきましては、円高の影響があったものの生産の合理化の進展により、営業利益は12億13百万円と前年同四半期に比べ、4億10百万円（51.1%）の増益となりました。経常利益は2億41百万円と為替差損10億57百万円を計上したこと等により、前年同四半期に比べ、3億72百万円（△60.7%）の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、自動車用部品に係る米国司法省との司法取引契約に伴う特別損失を計上したこと等により、△11億16百万円と前年同四半期に比べ、12億34百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億18百万円）の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 自動車部品事業（日本）

自動車部品事業（日本）は、主要得意先の国内販売が伸びず、売上高は55億30百万円と前年同四半期に比べ、1億66百万円（△2.9%）の減収、営業損失は5億28百万円（前年同四半期は営業損失5億26百万円）となりました。

## ② 自動車部品事業（北米）

自動車部品事業（北米）は、主要得意先の自動車生産台数の増加に呼応し現地通貨ベースでは増収でしたが、為替影響により、売上高は63億91百万円と前年同四半期に比べ、5億70百万円（△8.2%）の減収、営業利益は5億4百万円と前年同四半期に比べ、1億61百万円（47.1%）の増益となりました。

## ③ 自動車部品事業（アジア）

自動車部品事業（アジア）におきましては、新たにPT. ALPHA AUTOMOTIVE INDONESIAを連結しましたが、主要得意先のアセアンでの販売台数が伸びず、売上高は91億56百万円と前年同四半期に比べ、15億66百万円（△14.6%）の減収、営業利益は7億44百万円と前年同四半期に比べ、29百万円（4.2%）の増益となりました。

## ④ セキュリティ機器事業（日本）

セキュリティ機器事業（日本）は、コインロッカーの入れ替え需要増加や賃貸・戸建住宅向け電気錠の採用が順調に推移し、売上高は38億33百万円と前年同四半期に比べ、4億76百万円（14.2%）の増収、営業利益は3億89百万円と前年同四半期に比べ、2億3百万円（109.4%）の増益となりました。

## ⑤ セキュリティ機器事業（海外）

セキュリティ機器事業（海外）におきましては、売上高は14億39百万円と前年同四半期に比べ、91百万円（6.8%）の増収となりましたが、営業利益は52百万円と前年同四半期に比べ、19百万円（△26.9%）の減益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は495億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ、19億23百万円の減少となりました。また、有利子負債は前連結会計年度末に比べ、15億97百万円増加し、150億35百万円となりました。

流動資産は、原材料及び貯蔵品が1億98百万円減少しましたが、現金及び預金が4億84百万円増加したこと等により、3億98百万円増加し、268億96百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券が10億9百万円減少したことや、有形固定資産が15億46百万円減少したこと等により、23億20百万円減少し、226億91百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が4億1百万円増加しましたが、短期借入金が14億28百万円増加したこと等により、22億24百万円増加し、162億15百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が4億63百万円増加したこと等により、7億6百万円増加し、109億39百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が28億55百万円減少したことや、利益剰余金が14億72百万円減少したこと等により、48億54百万円減少し、224億40百万円となりました。以上により、自己資本比率は前連結会計年度末の51.3%から7.4ポイント減少し、43.9%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローが17億87百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが25億96百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが16億13百万円の収入となりました。

以上の結果、換算差額を含めた当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べ5億50百万円増加し、76億46百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権の増減額が8億4百万円減少しましたが、仕入債務の増減額が5億72百万円増加したことや、長期未払金の増減額が34百万円増加したこと等により、当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ、2億17百万円収入が増加し、17億87百万円の収入となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

連結範囲変更を伴う支出が14億58百万円増加したことや、有形固定資産の取得による支出が64百万円増加したこと等により、当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ、16億59百万円支出が増加し、25億96百万円の支出となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入れによる収入が15億62百万円増加したことや、長期借入れによる収入が3億86百万円増加したこと等により、当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ、15億46百万円収入が増加し、16億13百万円の収入となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年10月3日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において非連結子会社であったPT. ALPHA AUTOMOTIVE INDONESIAは、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

当第2四半期連結会計期間より、ASSA ABLOY ABからの事業譲受のために株式取得したAlpha Vehicle Security Solutions Czech s. r. o.、ALPHA INDUSTRY PUEBLA, S. A. DE C.V.及びALPHA (SUZHOU) VEHICLE SECURITY SOLUTIONS CO., LTD.を連結の範囲に含めておりますが、Alpha Vehicle Security Solutions Switzerland Saglは、重要性が乏しいため、連結の範囲に含めておりません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

## (4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,206	7,691
受取手形及び売掛金	9,644	9,865
商品及び製品	1,729	1,638
仕掛品	935	883
原材料及び貯蔵品	4,650	4,451
その他	2,335	2,366
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	26,498	26,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,674	4,780
機械装置及び運搬具（純額）	4,767	4,471
土地	1,625	1,525
その他（純額）	4,374	4,118
有形固定資産合計	16,441	14,895
無形固定資産		
のれん	767	1,155
その他	440	440
無形固定資産合計	1,208	1,596
投資その他の資産		
投資有価証券	5,652	4,643
その他	1,709	1,556
投資その他の資産合計	7,361	6,199
固定資産合計	25,011	22,691
繰延資産	8	8
資産合計	51,519	49,595
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,782	6,183
短期借入金	4,420	5,849
未払法人税等	324	383
賞与引当金	330	444
製品保証引当金	67	65
事業構造改善引当金	59	2
その他	3,006	3,287
流動負債合計	13,991	16,215
固定負債		
社債	480	420
長期借入金	6,411	6,874
退職給付に係る負債	50	49
資産除去債務	42	42
その他	3,248	3,552
固定負債合計	10,232	10,939
負債合計	24,223	27,155

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,952	2,952
利益剰余金	16,210	14,737
自己株式	△578	△578
株主資本合計	21,344	19,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,760	2,414
為替換算調整勘定	2,335	△519
その他の包括利益累計額合計	5,095	1,894
非支配株主持分	855	674
純資産合計	27,295	22,440
負債純資産合計	51,519	49,595

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	24,722	22,972
売上原価	20,726	18,741
売上総利益	3,996	4,230
販売費及び一般管理費	3,193	3,017
営業利益	802	1,213
営業外収益		
受取利息	43	58
受取配当金	52	64
不動産賃貸料	20	21
還付金収入	24	—
その他	64	60
営業外収益合計	206	204
営業外費用		
支払利息	97	91
為替差損	259	1,057
その他	38	28
営業外費用合計	395	1,177
経常利益	613	241
特別利益		
固定資産売却益	14	1
事業構造改善引当金戻入額	82	—
その他	0	—
特別利益合計	96	1
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	1	27
投資有価証券評価損	—	10
米国反トラスト法関連損失	—	929
その他	1	—
特別損失合計	3	969
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	707	△726
法人税、住民税及び事業税	414	469
法人税等調整額	129	△123
法人税等合計	543	345
四半期純利益又は四半期純損失(△)	163	△1,072
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	43
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	118	△1,116

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	163	△1,072
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△249	△345
為替換算調整勘定	△13	△2,951
その他の包括利益合計	△262	△3,296
四半期包括利益	△99	△4,369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△158	△4,284
非支配株主に係る四半期包括利益	59	△84

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	707	△726
減価償却費	1,082	1,052
米国反トラスト法関連損失	—	929
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△1
受取利息及び受取配当金	△96	△122
支払利息	97	91
固定資産売却益	△14	△1
固定資産除売却損	1	29
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	△90	△56
賞与引当金の増減額(△は減少)	△81	116
製品保証引当金の増減額(△は減少)	1	△0
売上債権の増減額(△は増加)	114	△689
たな卸資産の増減額(△は増加)	341	271
仕入債務の増減額(△は減少)	△55	517
長期未払金の増減額(△は減少)	△42	△8
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7	5
その他	△17	766
小計	1,953	2,170
利息及び配当金の受取額	96	119
利息の支払額	△101	△74
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△378	△427
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,570	1,787
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△892	△957
有形固定資産の売却による収入	124	143
無形固定資産の取得による支出	△29	△32
投資有価証券の取得による支出	△9	△10
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,458
債権譲受による支出	—	△400
その他	△129	120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△937	△2,596
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	365	1,927
長期借入れによる収入	2,432	2,818
長期借入金の返済による支出	△1,845	△2,025
配当金の支払額	△143	△143
非支配株主への配当金の支払額	△125	△96
その他	△616	△866
財務活動によるキャッシュ・フロー	67	1,613
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△557
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	698	246
現金及び現金同等物の期首残高	6,334	7,174
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	63	225
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,096	7,646

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	4,147	6,944	9,961	—	3,332	337	24,722	—	24,722
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,549	16	762	—	23	1,010	3,363	△3,363	—
計	5,696	6,961	10,723	—	3,356	1,347	28,086	△3,363	24,722
セグメント利益又は損失(△)	△526	342	714	—	185	71	788	14	802

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額14百万円は、セグメント間取引消去14百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	4,207	6,257	8,485	—	3,806	214	22,972	—	22,972
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,322	134	670	—	26	1,224	3,378	△3,378	—
計	5,530	6,391	9,156	—	3,833	1,439	26,350	△3,378	22,972
セグメント利益又は損失(△)	△528	504	744	—	389	52	1,161	52	1,213

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額52百万円は、セグメント間取引消去52百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産の金額が変動する要因となった事象の概要

当第2四半期連結会計期間より、ASSA ABLOY ABからの事業譲受のために株式取得したAlpha Vehicle Security Solutions Czech s. r. o.、ALPHA INDUSTRY PUEBLA, S. A. DE C. V.及びALPHA (SUZHOU) VEHICLE SECURITY SOLUTIONS CO., LTD.を連結子会社として連結の範囲に含めております。これにより、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの資産金額は、「自動車部品事業(北米)」セグメントにおいて16百万円、「自動車部品事業(アジア)」において340百万円、「自動車部品事業(欧州)」セグメントにおいて2,787百万円増加しております。

なお、資産の金額は当第2四半期連結会計期間末において取得原価が未確定であり、また、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

当第2四半期連結会計期間より、ASSA ABLOY ABからの事業譲受のために株式取得したAlpha Vehicle Security Solutions Czech s. r. o.、ALPHA INDUSTRY PUEBLA, S. A. DE C.V.及びALPHA (SUZHOU) VEHICLE SECURITY SOLUTIONS CO., LTD.を連結子会社として連結の範囲に含めております。これにより、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントののれんの金額は、「自動車部品事業（欧州）」セグメントにおいて534百万円増加しております。

なお、のれんの金額は当第2四半期連結会計期間末において取得原価が未確定であり、また、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの追加）

当第2四半期連結会計期間より、ASSA ABLOY ABからの事業譲受のために株式取得したAlpha Vehicle Security Solutions Czech s. r. o.を連結子会社として連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメント「自動車部品事業（欧州）」を新たに追加しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。